

平成23年度 学校経営方針

板橋区立成増小学校

校長 田山 幸子

1 学校の教育目標

人権尊重の精神に基づき、心豊かで自ら考え正しく判断し実践するとともに、自律心と社会性を身につけた心身共にたくましい日本人の育成を目指し、教育目標を設定する。

- 深く考える子ども
- ◎ 心の豊かな子ども
- 粘り強くやり抜く子ども
- 健康な子ども

2 学校の経営理念

(1) 本校のミッション（使命）

成増小学校は、教育の充実のために、○家庭や地域社会と連携し、学習することの素晴らしさを子どもたちに感じさせる。そして、○夢や希望を抱いて意欲的に学び、◎よさを認め合って生活する子どもたちをしっかりと支え、伸ばしていくために全教職員が全力を挙げる。

(2) 本校のビジョン（目指す児童像）

- わかるできる喜びのある学校
- よさを認め合い、互いを尊重する心の通い合う学校
- 信頼される学校
- 人とのかかわりを深める学校
- 学び続ける教職員の学校

3 中期的学校経営目標と方策

□自己評価項目

(1) 基礎・基本を大切にし、わかる授業の創造に努める。

① 自ら学ぶ力の育成

- ・ 教育活動全体において、言語活動の充実を図るとともに、1自ら学ぶ力の育成に向け、調べたことや学習したことをまとめ、発表する場をつくる。
- ・ 少人数指導や複数の指導者による指導で、指導方法や指導形態の工夫改善に努める。
- ・ 児童の学習状況を把握し、伸ばしたい能力を明確にして、指導方法の改善を図る。

② 読む、書く、伝える、計算するの力の定着

- ・ 2児童が読書量について「各自の目標」を設定し、読書活動を行う。
- ・ 3フィードバック学習の導入を図る（5・6年）など、教材や学習の場を工夫し、漢字の「読み・書き」の習熟を図る。
- ・ 4フィードバック学習の導入を図る（5・6年）など、教材や学習の場を工夫し、計算が正確にできるようにする。
- ・ 学習の成果を的確に評価し、認めたり、新たな指導の工夫をしたりする。
- ・ 家庭での学習習慣の定着をすすめる。

(2) ルールを守り、互いを尊重し合える豊かな心を育てる。

① 人権教育・道徳教育の充実

- ・ 5全教科・領域で、互いのよさを認め合う学習活動や教材を多く取り入れる。
- ・ 道徳の授業に、身近な環境（人・もの・こと）を生かした体験的な活動を取り入れると

ともに、道徳授業地区公開講座を通して、家庭・地域への啓発を図る。

- ・ 人や集団とのかかわりを重視した指導を工夫するとともに、「いじめやからかい」を許さないための人権教育を推進する。

② 基本的生活習慣の定着

- ・ 進んであいさつし、感謝の気持ちをもって物や場所を使うなど、生活の基本を徹底する。
- ・ **6** 集団生活のルールやマナーを徹底し、規範意識を高めるとともに、家庭と連携して基本的生活習慣の定着を図る。
- ・ 児童理解を深め課題の早期発見に努め、全教職員による共通理解と指導をすすめる。
- ・ 安心して生活できる「安心安全な学校づくり」に努める。

(3) 健康の増進・体力の向上を目指す

① 学校給食を活用した食育の推進

- ・ **7** 食育に関する資料や保健だより等を活用し、実践に結びついた食育指導に努める。
- ・ 給食に利用する食材の生産から調理までを通して、食に関する関心を育む。

② 基礎体力の向上を図る

- ・ **8** 「走る・跳ぶ・投げる」運動の充実を図るために、年間を通して記録の測定を行い、その結果をもとに指導の改善を図る。
- ・ **9** 体育朝会等を活用して、体力の向上を取り組みを継続して行う。

(4) 地域や学校支援団体との連携に努める

① 地域行事への積極的な参加

- ・ **10** いきいき寺子屋、**11** 農業まつり、童謡まつりをはじめとする地域行事への積極的な参加を促す
- ・ 家庭やPTA、町会、青少年健全育成協議会との協力、及び学校支援地域本部との連携に努める。

② 学校からの情報発信 **12**

- ・ 家庭、地域からの信頼に応える視点で学年学級経営をすすめ、学校公開を行う。
- ・ 学校評価（自己評価・関係者評価等）を公表するとともに、改善内容を示す。

(5) 幼・保・小中連携事業の推進を図る

① 学区域の中学校との連携（賢くなります学びのエリア）

- ・ キャリア教育の充実や中学校との交流活動を通して、学び伸びる意欲を育てる。
- ・ 中学校での指導を視野に入れ、系統性のある学習ができるよう指導力の向上を図る。（重点 外国語活動・英語 算数・数学）
- ・ 特別支援教育の取り組み状況の交流で、中1ギャップを防ぐ。

(6) 組織体としての活力ある学校を目指す

① 教職員の資質の向上と連携

- ・ 公務員としての自覚をもち、専門職としての力量を高める。
- ・ 自己の目標設定に対応した研修をすすめ、職務を遂行する。
- ・ 会議の効率化を図る中で、課題と成果を共有できる組織の構築を目指す。